

令和8年度 63回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅲ (周術期看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和8年10月	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ がん看護 : 12時間 ・ <u>周術期看護</u> : 12時間 ・ 女性生殖器系 : 6時間
担当講師名	平山 千尋	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	周術期にある患者の特徴を理解し、手術を受ける患者の看護の目的や役割を学ぶ。		
到達目標	1. 周術期にある患者の特徴を理解できる 2. 周術期に必要な看護について理解できる 3. 手術侵襲を最小限にする援助について理解できる		
事前学習内容	テキストの該当部分を読んで予習する		
成績評価の方法	筆記試験 100点 ※上記3単元の平均点が科目の成績評価となるが、各単元で6割に満たない場合は再試験に該当する		
使用テキスト	(1) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 学生用：第12版【電子版】、講師用：第12版第4刷 (2) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 学生用：【電子版】第10版 version4、講師用：第10版第4刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	周術期看護の概論(手術を受ける患者の状況と手術室看護師の役割)		講義
第2回	手術前患者の看護(手術前の具体的援助)		講義
第3回	手術中患者の看護(手術室の環境・安全管理、麻酔中の看護)		講義
第4回	手術後患者の看護①(手術後の回復を促進するための看護)		講義
第5回	手術後患者の看護② (おこりやすい術後合併症の予防と発症時の対応)		講義
第6回	大腸の手術を受ける患者の看護 ※テキスト(2)		講義
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		